

# まちづくり交付金 フォローアップ報告書

瑞穂中央地区

平成26年1月

岐阜県瑞穂市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	防災対策に対する満足度	%	18	36	25	確定 見込み ●	△	あり なし ●	31	H25年10月	△	<p>評価値に比べて確定値は上昇したが、近年の大規模災害が影響し、目標値に達していないと考える。</p> <p>■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる</p>	災害に強いまちづくりのため、避難経路や排水路の整備を推進したことで、防災対策に対する満足度は増加している。しかし、近年の大規模災害による不安が影響し、目標値に達していないと考える。今後も、防災対策として避難経路や水路整備の推進を図る。
指標2	避難所の屋内収容人数	人	3,630	3,940	3,940	確定 ● 見込み	○	あり なし		H 年月		<p>□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる</p>	被災時における避難所を確保するため、本田コミュニティセンターの建設を実施し、屋内収容人数を増加させることができた。
指標3	住民一人当たりの公園面積	m <sup>2</sup>	3.0	7.8	7.4	確定 見込み ●	△	あり なし ●	7.3	H24年10月	△	<p>計測時点での人口が、指標策定時の想定人口を上回り、目標値を達成できない結果となった。</p> <p>□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 ■ 新たに改善策をたてる</p>	公園整備を実施したことで、地区内の公園面積は増加した。しかし、人口増加が大きいため、住民一人当たりの公園面積は目標値を若干下回る結果となった。今後も、憩いの場として公園整備の推進を図る。
指標4						確定 見込み		あり なし		H 年月		<p>□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる</p>	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	避難場所、避難経路の整備に対する満足度	%	11	30	確定 見込み ●	/	/	32	H25年10月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	災害時における速やかな避難・救援体制づくりのため、避難所建設や避難経路の整備を進めたことで、平常時の利用においても利便性が向上し、事後評価時点を上回る評価が得られた。	
その他の数値指標2	河川、水路の整備に対する満足度	%	10	34	確定 見込み ●	/	/	36	H25年10月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	浸水被害を防止するため、国・県により放水路や排水機場が増設されたことや、幹線排水路整備の推進により、排水環境が整ったことで、事後評価時点を上回る評価が得られた。	
その他の数値指標3	避難所の収容人数割合	%	18.1	18.4	確定 ● 見込み	/	/		H 年月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	地区内人口が増加しており、既存施設だけでは屋内収容人数割合が減少していた。しかし、被災時における避難所として、本田コミュニティーセンターを建設したことで、屋内収容人数割合を引き上げられた。	
その他の数値指標4	浸水解消度	%	35	71	確定 見込み ●	/	/	71	H25年10月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	国・県による治水対策事業で浸水面積が約50ha軽減された、地区内においては、計画とおり幹線排水路整備を実施したことで、集水区域の71%が浸水解消された。	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

### 様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を持続させるために行う方策</li> </ul>	河川環境学習の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>「犀川子どもの水辺の楽校」の開催</li> <li>いかに競争、植物観察等の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「犀川子どもの水辺の学校」の活動を通じて河川環境への理解と意識が向上し、自主運営組織が発足した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主運営組織の支援を図っていく。</li> </ul>
改善策 <ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくりの目標を達成するための改善策</li> <li>残された課題・新たな課題への対応策</li> <li>その他 必要な改善策</li> </ul>	治水対策整備の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>治水対策の推進のため、幹線排水路整備の実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幹線排水路整備の推進により浸水解消が向上した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幹線排水路整備を実施し、浸水対策の推進を図る。</li> </ul>
	避難経路の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難経路整備の実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難経路の充実が図られたことで、平常時の利用においても利便性が向上した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難経路整備を推進し、基盤整備を充実していく。</li> </ul>
	地域防災活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災意識の啓蒙、啓発及び、防災活動支援事業の広報</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主防災組織育成事業の活用による各自治会単位での自主防災活動が増進されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時の連絡体制や具体的な救援・救護体制づくりを促進するとともに、組織リーダーの育成を図っていく。</li> </ul>

事後評価シート 添付様式5-③から転記

### 様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
憩いの場の拡充	瑞穂市公園・緑地等基本計画に基づき公園整備の推進を図る。	H26～	